

学生のサツマイモ収穫が終わりました。サツマイモ畑は何もなくなり、学生の喧騒もなくなり、今は冬の訪れとともに静かに春を待ちます。そして畑の主役であった学生は次のステップへと歩を進め、畑は春とともに新たな主役の訪れを待ちます。



ダイコン組の収穫も間もなく終わりを迎えます。11月の気温が平年に比べて高く推移したため、12月初めにかけて多くの野菜が順調に生育しました。収穫適期を逃してしまったブロッコリーは開花しました。しかし、生育初期に害虫被害が顕著な区画では収穫に至らない事例もありました。そのほかにも様々な要因で生育が遅れ、収穫に至っていないものが畑に散見されます。



11月の通信で獣害について触れました。その後、サツマイモの収穫を進める中で食害とともに活動穴を見つけました。さらに、畑を走る姿も目の当たりにしました。以前は農園へ通ってくる猫がいたためかネズミの被害はありませんでした。老いていた猫の姿を最近は見かけることはありません。



12月に入り農園でも紅葉が見られました。夏に甘い果実をつけ、学生たちが喜んで摘み取っていたブルーベリーの葉です。ツツジ科の植物であり、満天星つつじのように赤く色づきました。

今年は11月の気温が高く推移し、初霜も遅れました。しかし、12月半ばの今、朝は白い世界が広がっています。

